

第134期(第2四半期)

株主通信

2013年4月1日～2013年9月30日



CONTENTS

- 1 株主の皆さまへ
- 2 業績の概況
- 3 Kyodoトピックス
 - チューブ事業の拡大に向けた取り組み
 - 新たな製品・サービスへの取り組み
- 5 営業の概況
- 9 第2四半期 連結財務諸表の概要
- 10 業績の推移(連結)
- 11 株式の状況
- 13 共同印刷グループネットワーク

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当第2四半期(累計)の事業概況をご報告申し上げます。

近年、情報通信技術の発達、携帯情報端末の急速な普及などにより電子商取引の拡大や流通形態の多様化が進展し、モノづくりや情報サービス分野に大きな構造的変化をもたらしています。紙媒体を中心とした印刷物の需要縮小は依然として続き、印刷業界は厳しい経営環境におかれましては。こうしたなか、共同印刷グループは中期経営方針「強みを活かし事業領域を拡大して利益を創出する」に基づき、お客さまの課題解決につながる事業活動に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は前年同期を下回りましたが、コストダウン施策等の推進により利益は上回り、減収増益となりました。

国内経済は緩やかに回復しつつありますが、受注競争の激化や原材料価格の高騰などにより、印刷業界では今後も厳しい市場環境での事業活動が続くと予想されます。そのようななか、当グループは独自の技術、サービスメニューを生かした積極的な営業活動を継続して推進してまいります。出版商印部門およびビジネスメディア部門の情報系事業分野では、最適なソリューションをお客さまに提供することで新たな需要の創出をめざします。また、生活・産業資材系事業分野では、高機能製品の拡販を推進するとともに、競争力のある新製品開発に鋭意注力してまいります。

当グループは、今後も持てる強みをさらに強化し、総力を結集して積極的な事業活動を推進し事業領域の拡大に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

2013年12月

代表取締役社長 藤森康彰



業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により緩やかに回復しつつありますが、一方で、円安による物価上昇やアジア諸国における景気の下振れなどが懸念材料となり、先行きの不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましては、電子メディアの拡大による需要低迷と、それに伴う受注価格下落の影響などにより、経営環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような状況のなか、共同印刷グループは中期経営方針「強みを活かし事業領域を拡大して利益を創出する」に基づき、市場の拡大が続くBPO等の業務支援サービスと、独自技術を生かした高機能製品の拡販に努め、事業領域の拡大を推進しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は451億2千8百万円(前年同期比0.5%減)となりましたが、営業利益は4億円(前年同期比12.8%増)、経常利益は8億2千1百万円(前年同期比9.9%増)、四半期純利益は3億4千7百万円(前年同期は四半期純損失5千1百万円)となりました。

単位:百万円

連結	前第2四半期累計 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	当第2四半期累計 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	増減率
売上高	45,374	45,128	▲0.5%
営業利益	354	400	12.8%
経常利益	747	821	9.9%
四半期純利益(損失)	▲51	347	—
一株当たりの中間配当金	4円	4円	—

※年間では8円の配当を予定しています。

Kyodoトピックス

生活・産業資材系事業

チューブ事業の拡大に向けた取り組み

相模原工場、9月1日に着工

2013年9月、機能性チューブ製造の拡大に向け、相模原工場の建設に着手しました。建設地は当社取引先である日本ゼットック株式会社さまの工場建設用地に隣接しています。工場建設により、当社のチューブ製造と日本ゼットックさまにおける充填・包装とを一体化させた共同生産体制を実現します。

当グループのチューブ事業は歯磨きチューブを中心に順調に推移しています。近年は高機能歯磨きや化粧品向けチューブの拡販に注力し、正面の印刷スペースが広く商品の訴求効果が高いオーバルラミネートチューブや、フレキシ8色機による高精細印刷でデザイン性豊かな仕上がりの実現など、独自製品の提案を進めています。新工場は高水準な衛生環境を整える予定で、チューブ製造の能力アップはもちろん、両社技術の融合でお客さまの多彩な要望に伝えていくことをめざします。

竣工は2014年3月末、5月よりテスト生産を開始して6月に本格稼働の予定です。売り上げは、相模原工場を含むチューブ

事業全体として3年後(2016年度)に85億円を見込んでいます。



竣工予定図

概要

名称 : 共同印刷(株)相模原工場
所在地 : 神奈川県相模原市緑区大山町403番89
建築面積 : 2795.51m²(延床面積4211.67m²) ※敷地面積6611.77m²
投資額 : 約13億円(工場建設費含む)

フルプリントラミネートチューブ 化粧品分野へ拡大

ラミネートチューブは、遮光性やバリア性、搾り出しのしやすさなどの高い機能性が評価され、歯磨きや食品など幅広い分野で活用されています。一方で、印刷後に筒状成形するため、ボディ背面の継ぎ目が目立ち、デザイン性に影響することが課題でした。

そこで当社は、従来方式より高精細な印刷が可能なフレキシ印刷に注目、業界に先駆けてその印刷技術を確認しました。チューブの継ぎ目の課題をクリアしたことはもちろん、写真の再現性の高さや滑らかなグラデーション再現による美しい印刷が特長です。多様なデザインニーズにお応えできるため、化粧品分野などでの問い合わせが増えています。



継ぎ目もきれいなフルプリントラミネートチューブ

情報系事業

新たな製品・サービスへの取り組み

手塚治虫キャラクターの周年記念 「プレミアム宝飾ピンズ」を限定発売

2013年は、「鉄腕アトム」テレビアニメ放送開始50周年、「ブラック・ジャック」連載開始40周年、「リボンの騎士」連載開始

60周年にあたります。このメモリアルイヤーを記念し、手塚プロダクションさま監修のもとで「プレミアム宝飾ピンズ」を企画制作しました。

ピンズのセットは、アトムとウラン(鉄腕アトム)、ブラック・ジャックとピノコ(ブラック・ジャック)、サファイアとチンク(リボンの騎士)の3種です。世代を超えて愛されるキャラクターを、スターリングシルバー.925と天然宝石で再現しました。熟練の職人がキャラクターの細部にまでこだわり、一つひとつ手作業で仕上げています。ピンズを納める化粧箱には、セットごとに異なる背景台紙を用意し、作品の世界観を再現しました。3種合計2013部の限定エディションで販売中です。

※株主さま特別価格で販売します。詳細は本誌14ページをご覧ください。



©Tezuka Productions

鴨川シーワールド「オリジナルフォトブック」のサプライヤーに!

2013年7月、鴨川シーワールドを運営する株式会社グランビスタホテル&リゾートさまと協業し、当グループの株式会社コスモグラフィックが運営するデジタル印刷の総合サービスサイト「PriPark (プリパーク)」を利用した、鴨川シーワールドオリジナルフォトブックの作成サービスを開始しました。

本サービスでは、シャチのジャンプや美しい魚群など、ダイナミックで鮮明なオフィシャル画像と来場者の撮影画像とを組み合わせ、80種類を超える誌面レイアウトから思いどおりのオリジナルフォトブックが作成できます。

今後も同様の取り組みを展開し、PODソリューションメニューの拡販を進めていきます。



作成例(左:オフィシャル画像を使用した表紙、右:画像を組み合わせた中面。コメントも入れられます)

外部向けソリューションセミナーを主催

当社は企業の戦略パートナーをめざし、お客さまの課題解決と売上拡大に役立つトータルソリューションの提供を推進しています。2013年7月、「スモールから始める、ビッグデータビジネスのヒント」と題したセミナーを主催し、最近注目の「ビッグデータ」を題材に、身近なアプローチ法やデータを活用したソリューション事例など、ビジネスのヒントを紹介しました。

約80名の参加者からは、「議題解決のヒントになった」「効果が出ているか明確に知りたい」などの感想が寄せられました。

本セミナーにより、ビッグデータに対する関心の高さがわかりました。今後もこうした取り組みを推進し、営業活動と新サービスの開発に生かしていきます。



セミナーの様子

営業の概況

出版商印部門

- 定期刊行物
- 書籍
- 一般商業印刷
- 電子出版など



連結売上高 212億9千8百万円
(前年同期比3.1%減)

営業利益 1億6千6百万円
(前年同期は営業損失
1億8千8百万円)

出版印刷では、市場が縮小するなか、付録や形態加工への企画提案を行い付加価値の向上に努めたほか、マンガをはじめとするコンテンツのデジタル化対応業務に取り組みました。その結果、定期刊行物やコミックスが増加しましたが、単行本や絵本などの書籍が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

一般商業印刷では、ITを活用したサービスメニューの充実に努め、得意先の販促支援や業務支援につながる提案を積極的に進めました。カタログや販促DMなどは増加しましたが、情報誌やパンフレット類が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、部門全体での売上高は前年同期を下回りました。

今後、出版印刷においては、コンテンツを紙とデジタルの双方へ展開するサービスの強化を図り、コミック分野を中心とする受注拡大に努めてまいります。また電子書籍市場に対しては、電子書店「自己ガク」関連事業の充実に努めるとともに、今後拡大が見込まれる電子教材への取り組みを進めてまいります。

一般商業印刷においては、お客さまの販促活動全体をサポートするトータルソ

リューションの提案活動に取り組んでまいります。ITを活用したソリューションメニューを充実させるとともに、2013年4月に発足したトータルソリューションオフィスの機能を活用し、マーケティングや顧客分析等を含む販促プランの立案、各種事務局業務や在庫管理業務などを複合的に組み合わせた提案を行い、受注拡大を図ってまいります。



出版印刷



一般商業印刷(カタログ・情報誌など)

TOPICS カatalog・Web制作が便利に! 「TRUENEXT BINDER® II」提供開始

2013年4月、クラウド型デジタルアーカイブシステム「TRUENEXT BINDER® (トゥルーネクスト・バインダー) II」の開発と販売開始を発表しました。

「TRUENEXT BINDER® II」は、企業が保有する画像や図表データなどのコンテンツを効率的に一元管理するシステムとして2006年に開発した「TRUENEXT BINDER®」を、バージョンアップしたものです。さまざまな形式の画像や動画に対応し、登録情報に即して自動でカテゴリー分けする機能や、直感的でわかりやすいインターフェースなどを備えました。操作性や作業自由度が大幅に向上し、多様な目的に対応可能となりました。



TRUENEXT BINDER® IIの操作画面

ビジネスメディア部門

- ビジネスフォーム
- データプリント
- BPO業務
- 通帳・証券類
- 各種カードなど



売上高(百万円)



連結売上高 135億4千2百万円
(前年同期比2.0%増)

営業利益 2億5千4百万円
(前年同期比21.1%減)

ビジネスメディア部門では、データプリントの受注拡大を目指してカラープリンタを活用した提案を行うとともに、官公庁や金融機関を中心にBPOの提案活動を推進し受注拡大に努めました。

データプリントやBPOを含むビジネスフォームが増加し、抽選券などの証券類やICカードも増加した結果、部門全体での売上高は前年同期を上回りました。

本年8月には、川島ソリューションセンターのデータ処理事業に関するBCMS国際認証を取得いたしました。今後はこの認証を生かし、お客さまと社会から信

頼されるサービスの提供に努めます。証券類やICカードでは、新市場の開拓に取



ビジネスフォームなど

り組むとともに生産ラインの合理化による収益力向上を図ってまいります。



ICカード

TOPICS 川島ソリューションセンター、BCMSの認証取得

BCMS(事業継続マネジメントシステム)は、災害などで主要事業が中断した際に事業を再開・復旧するための行動計画を、訓練や内部監査などを通じて効果的に運用・管理する仕組みです。当社は2013年1月に「共同印刷グループBCP 基本方針」を制定し、経営への影響を最小限にとどめて事業を迅速に再開できるよう社内体制整備とマネジメントシステム構築を進めてきました。

本年8月、川島ソリューションセンターにおけるデータ処理事業を対象に構築したBCMSが、国際規格ISO 22301:2012に基づく認証を取得しました。今後も取り組みを強化し、お客さまと社会からより一層信頼される体制づくりに努めます。



社内訓練の様子
(川島ソリューションセンター)

生活・産業資材部門

- 紙器
- 軟包装
- チューブ
- 建材
- 金属印刷
- 高機能製品など



連結売上高 **95億6千2百万円**
(前年同期比1.6%増)

営業利益 **1億2百万円**
(前年同期比73.3%減)

生活・産業資材部門では、医薬分野や電子部品分野において「モイストキャッチ®」をはじめとする高機能製品類を提案するとともに、国内外の展示会等を通じて新規顧客の開拓に取り組みました。また、ラミネートチューブの新形態であるオーバルラミネートチューブなどの当社開発製品の拡販に努めました。

軟包装や建材製品が減少しましたが、高機能製品を中心に産業資材が増加し、チューブや紙器も増加しました。

以上の結果、部門全体での売上高は前年同期を上回りました。

当部門では、チューブやラップカートンなど既存分野での市場シェア拡大と、高機能製品の拡販による産業資材事業の拡大に取り組んでいます。チューブに

ついては、歯磨き用ラミネートチューブや食品用ブローチューブに続く新しい分野としてハンドクリームをはじめとする化粧品用オーバルラミネートチューブの拡販を進めております。

産業資材では、「モイストキャッチ®」「オキシキャッチ®」などの高機能製品に

対する開発投資と医薬品分野や電子部品分野への提案活動を進めています。今後も国内外での積極的な新規開拓に努めてまいります。



紙器・軟包装・チューブ・金属印刷など



「オキシキャッチ®」

TOPICS 製品寿命の延長や安定性向上に貢献! 「硫化水素ガス吸着フィルム」を開発

2013年4月、「硫化水素ガス吸着フィルム」を開発しました。特長は、硫化水素ガスのみを吸着し、一度吸着したガスを再放出しないことです。硫化水素による悪臭や金属腐食を防ぐことができ、製品寿命の延長や製品の安定性向上に役立ちます。また、温度や湿度(水分)の影響を受けずに吸着する(当社測定)ため、幅広い環境下での利用が可能です。

今後は、本開発品の実用化とともに、アンモニアガスや酢酸ガスなどを選択的に吸着するフィルムの開発を進めて、腐食性ガス吸着フィルムシリーズのラインアップ拡充を図ります。



サイズや厚さのカスタマイズが可能

その他

- 不動産管理
- 物流業務など

売上高構成比



売上高(百万円)



連結売上高 **7億2千6百万円**
(前年同期比4.4%増)

営業利益 **9千1百万円**
(前年同期比31.9%減)

連結子会社における物流業務、保険取扱業務、不動産管理業務が主たる業務です。

物流業務などの増加により、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。



共同物流株式会社

TOPICS

受賞報告

当社が製造に携わった製品が、コンクールで賞を受けました

国内で発行された本から、印刷・製本・加工技術に優れた製品を評する
第47回 造本装幀コンクール

●日本印刷産業連合会会長賞

- 国立新美術館(株式会社美術出版社)
「具体-ニッポンの前衛 18年の軌跡-」
- 株式会社ポプラ社「ほしのはなし」



「第4回 渡り蝶 アサギマダラのマーキング調査会」を開催

2013年9月、CSR活動の一環として、当社が協賛する赤城自然園(群馬県渋川市)で、「第4回 共同印刷グループ 渡り蝶 アサギマダラのマーキング調査会」を開催しました。

アサギマダラは1,000km以上もの距離を移動するといわれる蝶で、その生態は謎にまつまれています。調査会には社員とその家族など36名が参加し、ハネに捕獲場所などの情報を記入する「マーキング」を行いました。

当グループは、「生物多様性の保全と持続可能な社会づくりへの貢献」を意識した企業活動を行うことを環境方針のひとつに掲げています。今後も、環境を含むCSR活動へ積極的に取り組んでいきます。



第2四半期 連結財務諸表の概要

前期……………2012年4月1日から2013年3月31日まで
 前第2四半期 ……2012年4月1日から2012年9月30日まで
 当第2四半期 ……2013年4月1日から2013年9月30日まで

単位:百万円 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

●連結貸借対照表

	前期末	当第2四半期末
資産の部		
流動資産	47,482	45,322
固定資産	49,256	49,414
有形固定資産	38,141	37,291
無形固定資産	980	1,090
投資その他の資産	10,133	11,032
資産合計	96,738	94,737
負債の部		
流動負債	28,504	28,789
固定負債	18,394	15,369
負債合計	46,898	44,159
純資産の部		
株主資本	47,896	47,892
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,742	1,742
利益剰余金	42,188	42,184
自己株式	△ 545	△ 545
その他の包括利益累計額	1,944	2,683
その他有価証券評価差額金	1,942	2,672
為替換算調整勘定	2	11
少数株主持分	—	2
純資産合計	49,840	50,577
負債純資産合計	96,738	94,737

●連結包括利益計算書

	前第2四半期	当第2四半期
少数株主損益調整前 四半期純利益又は純損失(△)	△ 51	346
その他の包括利益	△ 12	738
その他有価証券評価差額金	△ 147	729
為替換算調整勘定	134	9
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
四半期包括利益	△ 64	1,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 64	1,085
少数株主に係る四半期包括利益	—	△ 0

●連結損益計算書

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	45,374	45,128
売上原価	38,495	38,077
売上総利益	6,879	7,050
販売費及び一般管理費	6,524	6,650
営業利益	354	400
営業外収益	571	551
営業外費用	178	129
経常利益	747	821
特別利益	2	20
特別損失	645	107
税金等調整前四半期純利益	104	734
法人税等	155	387
少数株主損益調整前 四半期純利益又は純損失(△)	△ 51	346
少数株主損失(△)	—	△ 0
四半期純利益又は純損失(△)	△ 51	347

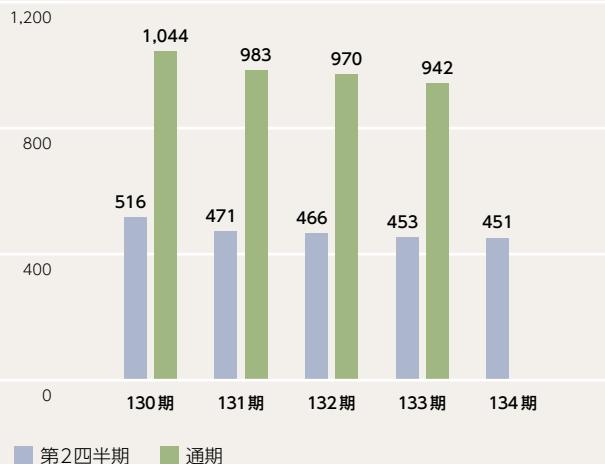
●連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期	当第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,774	4,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,091	△ 2,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,811	△ 2,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	7
現金及び現金同等物の増減額	884	△ 101
現金及び現金同等物の期首残高	11,851	13,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,735	12,976

業績の推移 (連結)

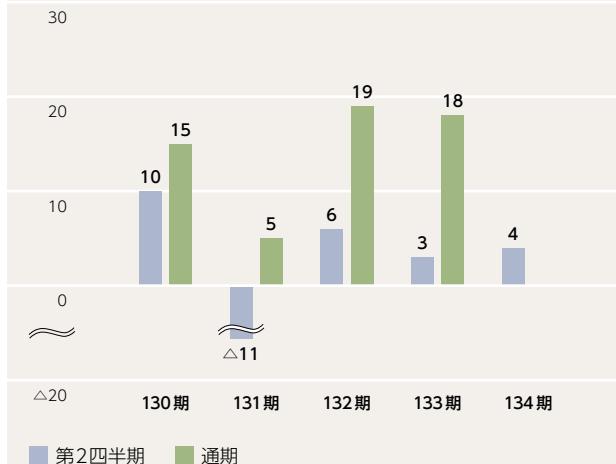
売上高

(億円)



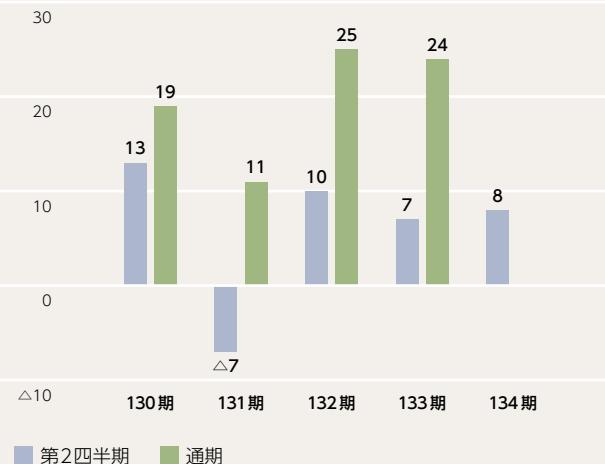
営業利益

(億円)



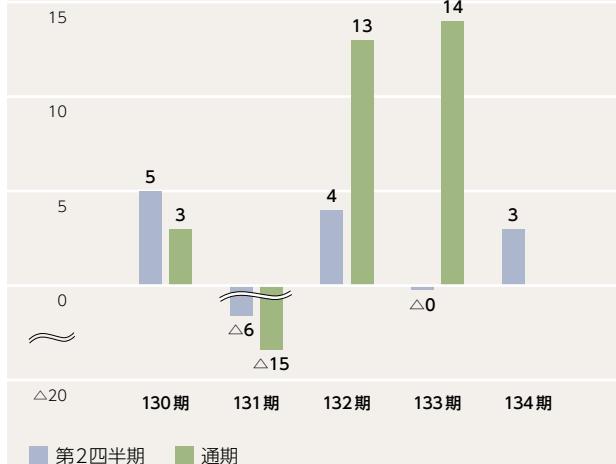
経常利益

(億円)



当期純利益

(億円)

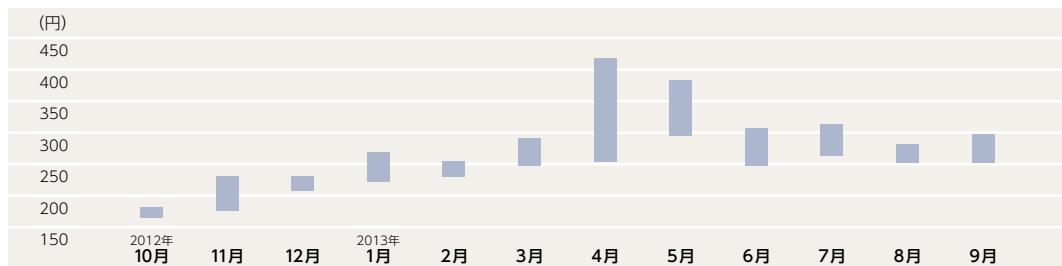


株式の状況 (2013年9月30日現在)

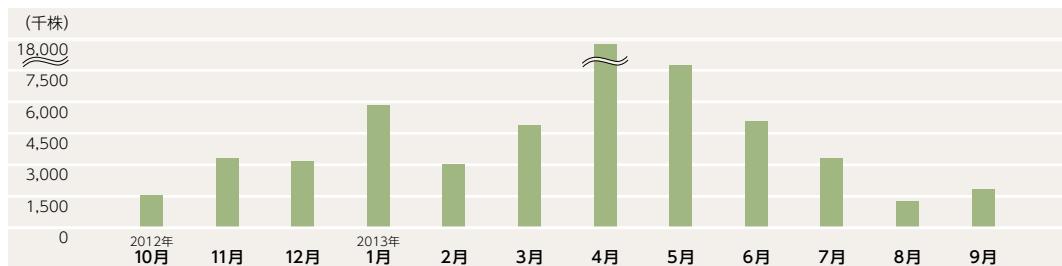
● 株価および売買高の推移 (東京証券取引所)

株価の推移

(終値ベースの高低)



売買高の推移



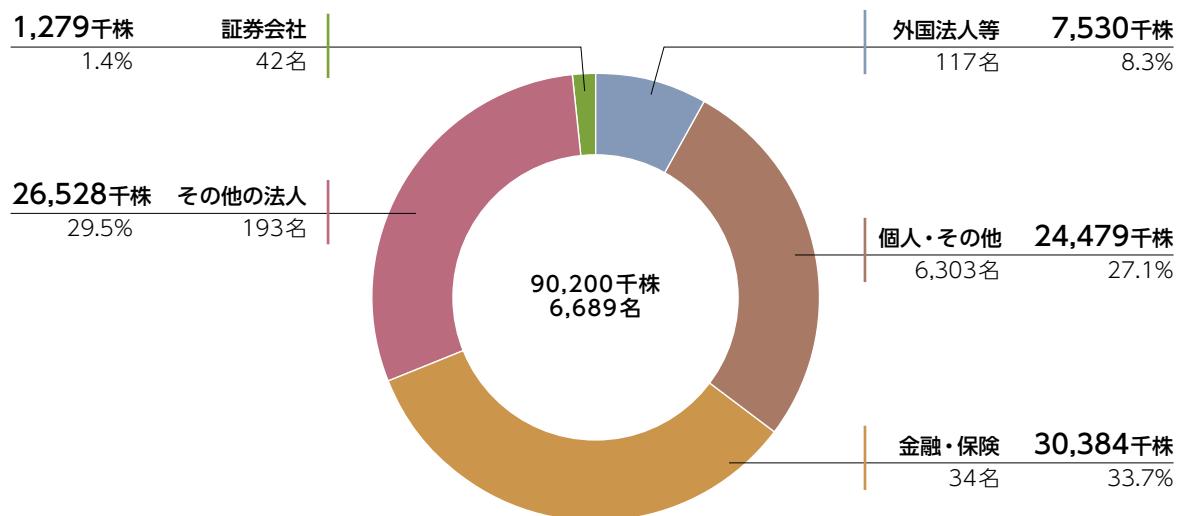
● 大株主の状況

氏名または名称	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	11,673	12.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・DIC株式会社口)	8,541	9.47
東京インキ株式会社	5,830	6.46
株式会社みずほ銀行	2,831	3.13
朝日生命保険相互会社	2,229	2.47
東洋インキSCホールディングス株式会社	2,169	2.40
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	2,052	2.27
共同印刷従業員持株会	1,872	2.07
三井住友信託銀行株式会社	1,482	1.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,221	1.35

●株式の状況

発行可能株式総数	360,800,000株
発行済株式総数	90,200,000株
単元株式数	1,000株
株主数	6,689名

●所有者別株式分布状況(株式数比率)



共同印刷グループネットワーク

会社商号	共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)
創業年月日	1897(明治30)年 6 月25日
設立年月日	1925(大正14)年12月26日
資本金	45億1千万円
本社	〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12 Tel. 03-3817-2071 (CSR本部コーポレートコミュニケーション部)

●役員紹介

取締役

代表取締役会長	稲木 歳明	
代表取締役社長	藤森 康彰	経営管理本部・技術統括本部・IT統括本部・経理部担当
常務取締役	三吉 幹夫	情報セキュリティ事業本部長、品質保証統括本部長、施設環境部担当
常務取締役	小笠原 誠	CSR本部長、監査部・資材部・人事部担当
常務取締役	清水 市司	L&I事業本部長
常務取締役	大澤 春雄	プロモーションメディア事業本部長、トータルソリューションオフィス担当
常務取締役	人見 実	出版情報事業本部長
取締役	半田 正章	交通媒体事業部長
取締役	井戸 一喜	経営管理本部長
取締役	大久保隆司	ビジネスメディア事業部長
取締役	齋藤 文孝	技術統括本部長、IC事業推進本部担当
取締役	今村 敏夫	IT統括本部長・トータルソリューションオフィス室長
取締役	梶山 正義	プロモーションメディア事業部長
取締役	渡邊 秀典	経理部長、法務部担当
取締役	里村 憲治	包装事業部長
取締役	汲井 隆	出版情報製造事業部長

監査役

常勤監査役	朝比奈治美	
常勤監査役	宮城 忠雄	
社外監査役	小澤 優一	弁護士
社外監査役	公文 敬	

●製造工場およびグループ会社

出版商印部門

小石川工場
五霞工場
越谷工場(共同オフセット株式会社)
苫小牧工場(株式会社コスモグラフィック)
小石川プロセス株式会社
共同印刷製本株式会社
デジタルカタパルト株式会社

ビジネスメディア部門

鶴ヶ島工場
川島ソリューションセンター
京都工場(共同印刷西日本株式会社)

生活・産業資材部門

小田原工場
和歌山工場
守谷第一工場
守谷第二工場
磯原工場(常磐共同印刷株式会社)
共印商貿(上海)有限公司

その他

共同物流株式会社
共同総業株式会社
共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社
株式会社日本書籍新社

(関連会社)
共同製本株式会社

手塚治虫キャラクターたちのプレミアム宝飾ピンズ 株主さま特別価格でご案内

受付期間：
2013年12月9日から
2014年2月28日まで

手塚治虫が生んだ三大作品の周年を記念し、手塚プロダクションの監修のもと、「鉄腕アトム」、「ブラック・ジャック」、「リボンの騎士」の3種類のプレミアム宝飾ピンズを企画制作しました。今回は期間限定で、「株主通信」をご覧の株主さまに、特別価格でご案内します。

手塚治虫キャラクターたちのプレミアム宝飾ピンズ



①「鉄腕アトム」
(アトム/ウラン)

②「ブラック・ジャック」
(ブラック・ジャック/ピノコ)

③「リボンの騎士」
(サファイア/チンク)

- 【仕様体裁】 ●素材：スターリングシルバー (.925銀)、天然宝石 各0.01カラット
各ペア
①「鉄腕アトム」アトム/ウラン(ルビー)
②「ブラック・ジャック」ブラック・ジャック(ブラックダイヤモンド)/
ピノコ(ホワイトダイヤモンド)
③「リボンの騎士」サファイア/チンク(サファイア)
●化粧箱入り
●日本製
●手塚プロダクション監修 ©Tezuka Productions

※金額は税込金額に対する割引後の価格です。
※返品は、商品到着後8日以内、返品送料はご注文者さまご負担をお願いします。



特別価格
1セット(各ペア) 30,000円(税込)

希望小売価格
1セット(各ペア) 39,900円(税込)

< 切りとり線 >

プレミアム宝飾ピンズ 注文書

共同印刷株式会社 行

下記のとおり注文します。

商品(ペア)名	個数	金額	円
ふりがな			
お名前(会社名)			印
TEL	FAX		
※お振込名義がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。 ()			
納品先ご住所	〒		
TEL			
※お届け先名がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。			
お名前(会社名)			

ご注文方法

左の注文書にご記入の上、FAX送信、または下記住所あてにご郵送ください。

共同印刷株式会社

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12

FAX 03-3817-6702 24時間受付

お支払方法(料金前払い/口座振込のみ)

お申し込み受け付け完了後、当社よりお支払方法をご連絡します。商品をご入金を確認次第発送します。

※ 振込手数料はご注文者さまでご負担ください。送料・梱包料は、当社にて負担します。(海外発送は別途相談)

本件についてのお問い合わせ

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

TEL 03-3817-2071

Email koho@kyodoprinting.co.jp

株式のご案内

決算期 3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 定時株主総会・期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要あるときは予め公告する日
公告方法 電子公告
ただし電子公告による公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。
公告およびIR情報などを掲載するWebサイトアドレス
<http://www.kyodoprinting.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各
支店で行っています。

お知らせ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

以上